

DATA FILE



単斜晶系

名前	HOWLITE (ハウライト)/ハウ石
化学組成	$\text{Ca}_2\text{SiB}_5\text{O}_9(\text{OH})_5$
色	白色
光沢	ガラス光沢～土状光沢
蛍光	なし
条痕	白色
劈開	なし
断口	不明
硬度	3.5
比重	2.6

ハウ石

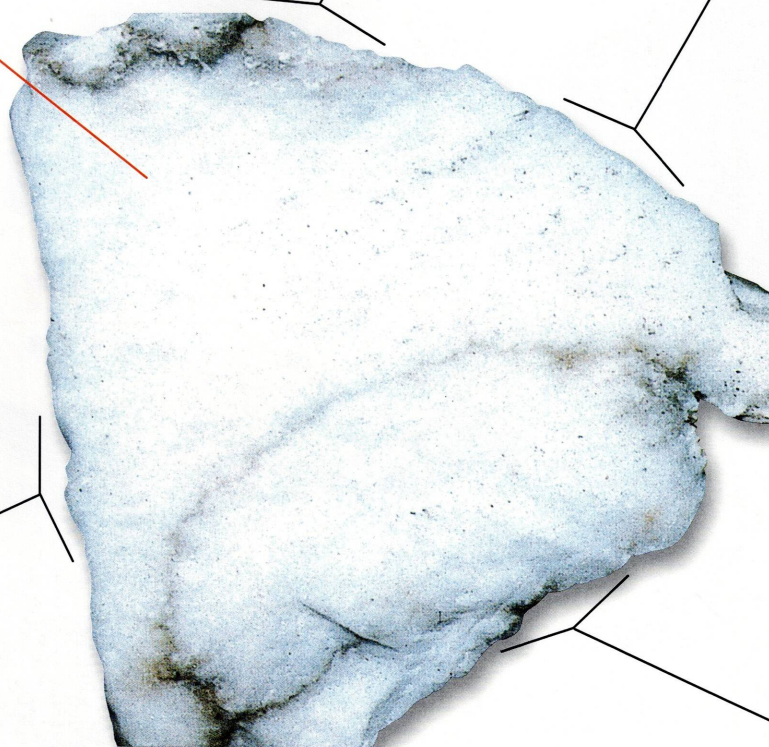
HOWLITE

ハ

鉱物名は、発見者であるカナダの科学者、ヘンリー・ハウ（1828～1879年）にちなんで名づけられた。

アメリカで産出したハウ石。

白色で、ガラス光沢や土状光沢を示す。



ノジュール状の塊を形成する。

素焼きの陶板にこすりつけると白色の条痕が残る。

ホウ素鉱床から灰硼石や硼砂をともなって産する。

着色するとトルコ石に酷似

ハウ石は、ホウ酸を含む湖に沈殿物として形成される鉱物で、1868年に発見された。特にアメリカのカリフォルニア州モハベ砂漠やカナダのノバスコシアで大量に産出し、陶器のような質感を持ち、多孔質で液体を吸収しやすい。さらに熱に強いことから、青色に染めてさまざまな形に加工され、トルコ石の模造品として用いられる。天然のトルコ石は一般的に全体の色が不均一で、人工的に着色されたハウ石の場合は色が均一になるが、肉眼での判別は極めて難しい。

トルコ石との違い

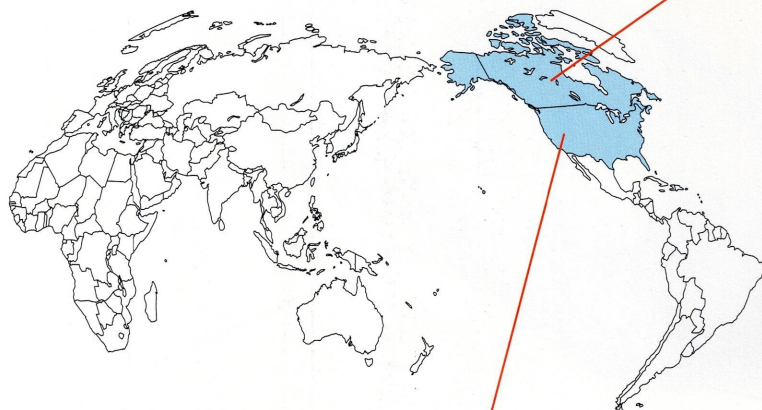
ハウ石とトルコ石を区別するには、硬度が目安になる。ハウ石の硬度は3.5であるのに対して、トルコ石は5～6とやや硬い。しかし、正確には化学組成やX線による検査が必要だ。

ハウ石



◀ 青い染料で着色されたハウ石。
詳細な分析をしないと、ハウ石かトルコ石か区別することは難しい。

主な産地



カナダ



ノバスコシアなどで産する。

アメリカ



カリフォルニア州で産する。

▼ 丸い塊状で産出したハウ石。

